

(案)

令和8年3月13日

村上市長 高橋 邦芳 様

村上市総合計画審議会
会長 宍戸 邦久

第3次村上市総合計画等の進捗管理及び検証について（答申）

令和7年8月4日付け村企第180号で諮問のありましたこのことについて、これまで審議を重ねた結果、下記のとおり取りまとめましたので答申します。

記

第3次村上市総合計画、第2期村上市総合戦略及び村上市過疎地域持続的発展計画（以下「村上市総合計画等」という。）に基づき実施した施策から得られた成果と今後の取組について進捗管理及び横断的な評価を行いました。加えて、今年度は次期村上市総合計画等策定に向け、現行計画の検証も実施しました。

審議会でご各委員から示された別紙の意見に留意のうえ、引き続き事業を確実に遂行し、「あふれる笑顔のまち村上」の実現に向けて取組を進めてください。あわせて、施策の今後の方向性を明確にし、必要な改善点を抽出して新たな計画策定に反映させてください。

1 第3次村上市総合計画等の進捗管理

村上市総合計画等に掲載されている評価対象の成果指標168項目のうち、122項目（73%）が改善しており、計画の進捗状況は着実に目標に向かってしていると判断します。これまでの取組を評価するとともに、今後の計画が着実に推進されることを強く望みます。

人口減少や地域課題の多様化が進む中では、各施策を個別の点として扱うのではなく、担当課の枠を越えた横断的な連携をさらに深めることが重要です。このような連携強化により、施策の相乗効果が一層高まり、より効果的な成果が期待されます。

また、市の施策や取組を市民に伝わりやすくする工夫を重ねることで、市政への理解と関心が広がり、市民との協働がより進展すると考えます。施策の推進にあたっては、市民との対話を重視し、市民の声を丁寧を受け止めながら進める姿勢が、まちづくりへの参画意識を高めることにもつながります。特にKPIの達成状況が十分でない施策については、結果を率直に市民と共有することにより、課題をともに認識し、協働して乗り越えていくための基盤が形成されるものと考えます。

市民と課題意識を共有しつつ、総合計画が着実に推進されることを期待します。

2 次期総合計画等策定に向けた検証

（1）基本目標1 子育てと健康のまち

子どもの運動習慣の有無の二極化が進み、生活習慣病や怪我への懸念に加え、安心して遊びや運動ができる場が不足している現状があります。学校・医療・行政が連携して専門的知見を積極的に取り入れながら、子どもの心身の健康を支える仕組みづくりが必要です。

地域医療では将来の医師確保・定着を見据え、これまでの成果を検証しつつ制度を柔軟に見直すとともに、要介護予防を含む疾病の発生・重症化防止を一層充実させ、地域全体の健康促進を図ることが求められます。

高齢者や障がい者が希望と活躍の場を持ち続け、いきいきと輝ける村上市を目指すためには、高齢者や障がい者を支援対象とするだけでなく、積極的にまちづくりに関わってもらうなど、社会貢献を支援する視点が重要です。あわせて、介護をしている家族や障がいのある家族を抱える家庭への支援にも目を向け、地域で支えあう仕組みづくりを進めてください。

（2）基本目標2 豊かで安心なまち

災害時に備え、ハザード情報の効果的な周知と避難所運営の充実を進め、他自治体からの支援を円滑に受け入れる体制の構築に努めてください。

通学路の安全対策については、道路改良や安全設備などのハード面の対策に加え、見守り活動などのソフト面も含めた一体的な取組を進めることが重要です。

公共交通については、その必要性が指摘される一方で、利用が伸び悩んでいる現状を踏まえ、今後の維持のあり方や果たすべき役割について市民と課題を共有しながら検討すべきです。

洋上風力発電は、新たな雇用の創出や地域経済への波及効果が期待されることから、岩船港を拠点とした取組を積極的に推進してください。

(3) 基本目標3 魅力ある賑わいのまち

農業では、環境に配慮した農業の推進が重要である一方、担い手の減少や農地集積が進んでいることから、農業現場の負担や実行可能性を考慮した取組が必要です。そうした観点から、耕畜連携など地域資源を循環させる農業のあり方についても、今後の方向性の一つとして検討していくことが望ましいと考えます。

人材育成が一定程度進展している林業においては、人材が地域で十分に活躍できるような施策の充実が求められています。また、林業従事者の雇用や所得の安定、経営基盤強化に重点を置くことが重要です。同様に、担い手不足が深刻化している水産業についても、就業の継続性を確保する観点から、漁業従事者の所得向上を重視した施策が必要であると考えます。

若者の地元定着には、就職先の確保に加え早期の情報提供が重要です。村上市には、保有する情報や調整機能を最大限に活用し、関係機関と連携しながら支援の充実を図ることを期待します。また、商工業分野では、個人事業主の事業承継をはじめとする事業者の実態を考慮した対策が必要です。

観光施策に関しては、観光客の増減だけでなく、その内訳を把握し、対象を明確にしたうえで戦略的に取り組む必要があります。

(4) 基本目標4 人が輝く郷育のまち

地域移行が進む部活動では、人気種目の偏りや生徒の移動負担、施設環境の課題を解決する必要があります。このため、子どもたちが安心して多様なスポーツ等の活動に取り組めるよう、地域の実情に合わせた移行が必要です。

生涯学習については、幼児から高齢者まであらゆる参加者を対象に、市民が気軽に集える拠点を確保し、まちづくりへの参加機会の創出が重要です。

地域の祭りについては、外部からの参加促進など新たな関わり方を模索するとともに、地域の歴史や文化を学び発信する仕組みを整えることで、市内外の人々が村上市の魅力に触れる機会を拡大できます。さらに、スノーボードやスケートボードなど特色あるスポーツ資源を活用した取組を通じて、地域活性化が期待されます。

(5) 基本目標5 多様性が広がるまち

地元に戻らない若者が多い背景には、生きづらさを感じる意識も影響していると考えられます。特に、依然として根強い男女の固定的な役割意識がその一因です。このため、家庭、学校、地域のみならず、職場における意識改革も必要です。また、人権意識の高まりに伴い、自己の人権が侵害されていると感じる人が増える傾向にあり、その背景や要因についての詳細な分析が求められます。

関係人口の創出にあたっては、スポーツ、産業、仕事など多様な分野での関わり方を整理し、分野ごとに特色ある支援メニューを整備することが、地域活動への参加や交流の促進に資するものと考えます。

行政運営において、職員のウェルビーイングの充実は、施策の質向上や市民サービス向上に直結する重要な要素です。このため、職員の働きやすい環境の整備にしっかりと注力し、取り組んでください。

（6）次期総合計画等策定に向けた総括

本審議会では、基本目標ごとに多様な視点からの意見が出されました。これらを踏まえ、今後の総合計画策定にあたっては、個別施策の充実にとどまらず、分野横断的な連携を強化することが重要です。

村上市は豊かな資源と魅力を有しており、それをどのように生かすかが今後の課題です。次期総合計画等が、市民の幸福と地域の発展につながる実効性のあるものとなることを期待します。